

アジアの将来を担う人材の育成を支援

住友商事(株)

環境・CSR部 岩田 淳

地域総括・調査部 菅谷百合子

住友商事グループの事業活動が究極的に目指すのは、「健全な事業活動を通じて豊かさと夢を実現する」という経営理念の実現である。本業である健全な事業活動と社会貢献活動を通じて、企業の立場から社会的課題の解決に向けて取り組み、持続可能な社会の実現、すなわち、すべてのステークホルダーの豊かさと夢の実現に貢献していくことを CSR の基本としている。

総合商社である当社がおこなう社会貢献は特定の商品や技術に関連する活動ではなく、人、特に社会の持続的成長を担う次世代人材の育成支援と、グローバル企業である当社が事業活動をおこなう場である地域社会への貢献を軸として、さまざまな活動に取り組んでいる。それぞれの代表的な事例として「住商奨学金」、「冠講座」、「日本語教室」に関する取り組みを紹介する。

ナショナルスタッフが運営に参画 ーアジア 11 カ国で「住商奨学金」

当社は、1996 年に商事活動 50 周年を記念して「住商奨学金」を設立し、以来、アジアの開発途上国で将来を担う人材の育成支援を目的に、中国、ベトナム、インドネシア、タイなどアジア各国の大学生・大学院生を対象に奨学金を支給している。2008 年度の奨学生数は 11 カ国 42 大学の約 950 人、過去 13 年間の累計は延べ約 9,000 人に及んでおり、奨学金を活用して学業を終えた卒業生はすでに各国のさまざまな分野で活躍されている。

本制度を円滑に運営するには現地にて大学側との連絡・調整が欠かせないため、当社の現地拠点

(海外法人・支店・駐在員事務所) のナショナルスタッフが中心となって大学を始めとする関係先との窓口となり、制度の運営に参画している。アジア各国に拠点を有する当社ならではの取り組みであり、各拠点においては自らの CSR 活動の一環として位置付け積極的に取り組んでいる。

具体的には、奨学生の選考、奨学金授与式の開催などを通じて、奨学生、大学関係者、当該国の教育機関を始めとする地域社会とのかかわり合いを深めながら、地道な取り組みを継続している。昨年 8 月には、ベトナムにおける長年にわたる奨学金支給の取り組みに対して、奨学金支給先であるホーチミン市国家大学からの推薦に基づき、ベトナム政府の教育訓練省から学生教育に貢献したとして表彰を受けることとなった。当社の継続的な取り組みが地域社会から高く評価されたものであり、大変光栄に思うと同時に、活動内容の一層の充実に向けて意を強くした。

当社は、事業活動をおこなう場である地域社会とのかかわり合いを深めることを通じて、それぞれの地域の広範なステークホルダーから信頼と支持を得て、事業の持続可能な成長に向けた糧とし



奨学金授与式 (中国・天津)

ていく好循環につなげる観点が不可欠であると認識している。こうした認識の下、本奨学金制度については、本社が取り決めた基準をすべての国・地域に一律適用することを原則としていた従来の運営を見直し、各拠点と密に連携し、国・地域それぞれの特性に合わせ、地域社会において、より一層当社の顔が見える制度に深化させていきたいと考えている。

将来を担うリーダー人材の育成 ー中国、ベトナム3大学の冠講座

当社は2007年より、中国の清華大学（北京市）と南開大学（天津市）の2大学で当社の冠講座を開設している。中国の将来を担う学生や社会人を対象に、清華大学では、当社トップのみならず日本を代表する企業のトップに「グローバル企業のリーダーシップ」に関して講演いただき、清華大学の研究活動を支援している。また、南開大学では、「企業の社会的責任」をテーマに講座を運営している。いずれも、リーダー人材の育成を目的として、日中双方が交互に講師を派遣する形で運営しており、受講者および大学側関係者から高く評価されている。

中国の2大学に続き、昨年、当社はベトナムのハノイ国立経済大学で「グローバル企業の企業経営」をテーマとする冠講座を開設した。その目的は、経済発展が目覚ましいベトナムの将来を担う方々にグローバルなビジネス感覚を身につける一助としてもらおうというものである。当社の役職員自らが講師として現地に赴き、これから社会に出て活躍する大学生や、すでに企業で活躍している社会人を対象に、日本経済が発展してきた過程とその課題、グローバル企業の社会的責任、企業経営と環境問題など幅広い内容で講義をおこなっている。当社の経験豊富な第一線の社員の講演を熱心に聴き入る学生や社会人の姿は、母国のために少しでも多くの知識を吸収しようと真剣そのものである。講演後にはより具体的な説明を求める質問が数多く出され、当社の社員にとっても啓発されるところが少なくない。



日本語教室の授業風景（ベトナム・ダナン）

文化・生活習慣まで多くを学ぶ ーベトナムにおける日本語教育

近年、ベトナム政府は日本語学科のある中学校・高校を徐々に増やすなど日本語教育に力を入れている。当社は同政府の方針に沿った取り組みとして、2006年にベトナム中部のダナン市で中学生を対象とする日本語教室を開講し、以来、同国の日本語教育に携わっている。日本語教師の資格を持つ当社OBが教壇に立ち、現在、3学年6クラス約110名の中学生が熱心に日本語を学んでおり、本年5月には第一期生が卒業を迎える予定である。

この教室では、単に日本語を教えるだけではなく日本の四季折々の行事に合わせたカリキュラムを取り入れたり、折り紙やあやとりなどの伝統的な遊びを紹介するなど、日本の文化に触れる授業もおこなっている。また社会体験学習として、日本食を体験しながら日本の生活習慣を学んだり、当社の取引先の協力を得て企業見学なども実施している。生徒たちは変化に富んだカリキュラムに目を輝かせて取り組んでおり、この日本語教室を通じて日本への親しみと理解を深め、将来、日越友好の架け橋となって活躍してくれることを切に願っている。

◆住友商事㈱「社会・環境への取り組み」

<http://www.sumitomocorp.co.jp/society/index.html>